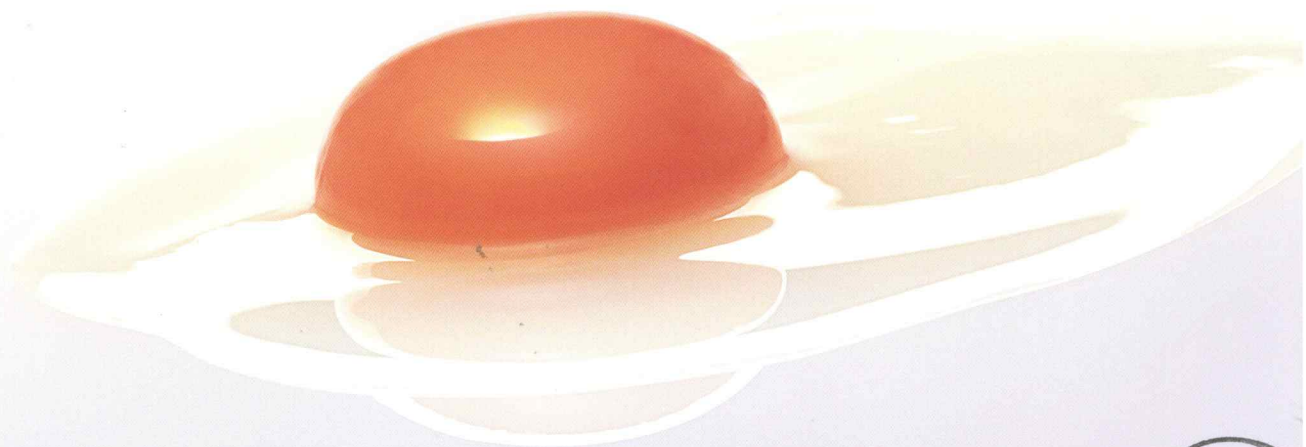




株式会社アミノ

# The safety egg for life

安全・安心・新鮮なたまごを追求して半世紀



「食品」ではなく  
「食材」だから、  
安全・安心をお約束したい。

私たち日本人にとって、卵は  
食生活に欠かすことのできない「食材」です。  
天然水をつくることができないように、  
ひとの手では、決してつくることのできないものだからこそ、  
守らなければならない安全・安心がある。  
私たちは、そう信じています。  
そして、完璧な安全・安心をめざし、アキタがたどりついた答えが、  
飼料はもちろん、種鶏から鶏卵出荷までのすべての工程を自社で行う、  
「日本唯一の完全直営一貫生産システム」でした。  
その徹底した管理のもとに生み出された卵だけに  
与えられる「厳格仕様」は、まさに  
安全・安心・新鮮をお約束する、アキタの卵の証です。



「アキタ式 HACCP」による25段階のSEチェック

# 本唯一の完全直営一貫生産システム

「アキタ式 HACCP」とは、食品を製造する際、原料の入荷から製造、出荷までのすべての工程において、微生物汚染や異物混入などの危害をあらかじめ分析・予測し、異常が認められた場合、すぐに解決できるように、継続的に監視・記録を行う衛生管理システムです。このHACCPは、国連の国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機構(WHO)の合同機関である食品規格委員会(Codex)から発表されており、国際的に認められたシステムです。


**飼料工場**  
(Feed Mill)

ヒナの育成から、卵を産む鶏(採卵鶏)、その親鶏(種鶏)まで、すべての過程で安全なアキタ独自で栄養設計された飼料を採用。出荷後も、原材料までさかのぼってトレースできる、徹底管理を実現しています。

- 飼料製品

**種鶏農場**  
(Parents Stock Farm)


世界で最も高品質とされる「ハイブリッド鶏」を種鶏に。この種鶏が産んだ有精卵からヒナが誕生し、採卵鶏へと成長します。



- SEチェック
- 種鶏導入前 ●種鶏導入直後
- 育成期間 ●成鶏期間
- 作業従事者 ●水及び環境

**ふ卵工場**  
(Hatchery)


有精卵はふ卵工場へ移され、約3週間、24時間体制の徹底管理のもと、大切に見守られます。



- ふ卵工場 ●ふ化直後
- 作業従事者

**育成農場**  
(Rearing Farms)


有精卵からふ化したヒナは、すぐに胎便チェックやサルモネラ菌に対する安全性を確認。すべてのチェックをクリアした雌ヒナだけが、育成農場で採卵鶏として育てられます。



- ヒナ導入前 ●育成期間
- 作業従事者 ●水及び環境

**採卵農場**  
(Layer Farms)


温度、換気量、光量をコンピュータで管理し、採卵鶏にとって理想的な環境を実現。周辺の衛生環境まで考慮した、万全な体制の農場で、製品となる卵が生産されます。



- 若雌導入前 ●成鶏期間
- 作業従事者 ●水及び環境


- サルモネラ(SE)ワクチン接種済み
- 25段階のサルモネラチェック(HACCP方式)で生産

アキタ式 HACCP「厳格仕様」で生産されたことを証明するこのマークは、アキタの卵づくりへの厳しい姿勢と使命感を表現。さらに、パックの虹は「安心な卵づくり」を通じて願う、安全で豊かな食生活を表現しています。



**GPセンター**  
(Grading and packing center)


採卵農場で生産された卵は、人の手に触れることなく、GPセンターへと運ばれます。洗卵・消毒・殺菌・乾燥処理が行われ、高精度の専用マシーンで、品質検査と選別・パッキングが行われます。



- 洗卵 ●保管 ●作業従事者

**鶏卵センター**  
(Egg Stock Point and Delivery Center)

パック詰めされた新鮮な卵は、食品衛生法で義務づけられた情報と「厳格仕様」マークの付いたラベルが貼られ製品化。温度管理のできる抗菌仕様チルドトラックで全国に向けて出荷が行われます。



- 輸送 ●保管 ●作業従事者

**出荷**  
(Delivery)

出荷にあっても、自社の流通システムを構築。様々な検査や洗卵、消毒、選別、検卵などが行われた新鮮な卵は、「完全直営一貫生産システム」のもと、産卵の翌日には店頭に並びます。



- 輸送 ●保管 ●配送 ●作業従事者

SE ワクチン接種      衛生・品質管理      SE ワクチン接種      衛生・品質管理

衛生・品質管理      衛生・品質管理      衛生・品質管理


**研究所**  
(Laboratory)

「P3」レベルの実験室と、最新鋭の研究開発機器を完備した自社研究所。世界基準の安全管理体制

「アキタ式 HACCP」の監査・分析を行い、サルモネラ菌(SE)などへの防疫対策に取り組むなど、「厳格仕様」の品質を支えています。

トレーサビリティ (Traceability)      アキタの「完全直営一貫生産システム」は、全工程を自社一貫で管理。これにより、出荷後も、

飼料までさかのぼって、卵の生産工程のすべてが追跡できるようになっています。

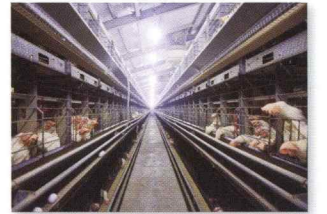


卵の母、さらにその母となる代から、  
アキタの安全・安心な卵づくりは  
はじまっています。

#### 種鶏農場

種鶏となる「ハイブリッド鶏」の導入から、厳格な検査を実施。

アキタは、安全・安心・新鮮な美味しい卵のために、卵を産む鶏のさらに親にあたる種鶏からこだわっています。そして、育種改良をくり返し生まれたのが、世界でも高品質とされる「ハイブリッド鶏」。完全直営一貫生産システムは、この「ハイブリッド鶏」がすべてのはじまり。その導入時から独自の高レベルな検査を実施し、病原体の侵入を防ぐバイオセキュリティのもと、安全な鶏だけを種鶏として迎え入れます。



#### ふ卵工場

ヒナのふ化を、3週間・24時間体制で大切に管理。

優秀な「ハイブリッド鶏」が産んだ有精卵は、種鶏農場からふ卵工場へと移され、コンピュータ管理されたふ卵機の中でヒナにかえるのを待ちます。ウイルスや細菌の侵入を防ぐバイオセキュリティの中、適切な温度と湿度、さらには清浄な空気など、ヒナのふ化に理想的な環境を整え、約3週間・24時間体制で大切に見守っているのです。



#### 育成農場

成鶏になるまでの4カ月間に、何度も健康診断を実施。

ふ卵工場でかえったヒナたちは、胎便の検査を行い、様々な面から安全性をチェック。すべてをクリアした雌ヒナだけが育成農場へと送られます。育成農場では、ヒナたちが過ごしやすいう、最適で清潔な環境が保たれ、コンピュータによりヒナの成長を徹底管理。卵を産む成鶏となるまでの4カ月の間には何度もヒナの健康診断を行い、常に雌ヒナの状態を把握しています。



高品質な卵は、健康な親鶏から。  
そのために必要な環境や飼料を考えて、  
万全の体制を整えました。

#### 育成農場・採卵農場

全農場の窓をなくした、クリーンな鶏舎。

アキタでは、種鶏農場から卵を産む鶏(採卵鶏)の採卵農場まで、すべての鶏舎で、まったく窓のない環境を実現しています。このウインドレス(窓なし)鶏舎の導入で、害虫や野鳥をはじめ、あらゆる病原体を防ぐバイオセキュリティ体制を確立。クリーンな環境で卵と鶏が管理されているので、鳥インフルエンザなどの心配もありません。



鶏が快適に過ごせるよう、温度・換気量・光量をコンピュータ制御。

育成農場で大切に育てられた雌鶏は、産卵に向けて次は採卵農場へと移されます。この育成段階と採卵段階の環境づくりは、鶏の健康状態、そして卵の品質に重要な影響を及ぼすため、アキタでは全農場を大規模生産農場として整備しているのです。温度・換気量・光量をコンピュータが制御し、一年を通じて鶏にとって理想的な環境を実現。衛生管理も、バイオセキュリティも万全な体制で、高品質卵の産卵をサポートしています。



#### 飼料工場

安全・安心な自社独自の配合飼料で、全鶏群を飼育。

アキタの飼料は、すべてアキタ独自の栄養設計により配合、製造しています。安全性の確保及び品質の改善に関する法律(飼料安全法)の適合はもちろんのこと、飼料原料は、すべて成分検査でその栄養成分と安全性を確認。選び抜かれたこだわりの原料だけを使用しています。もちろん、抗生物質、合成抗菌剤などの薬品類は一切無添加。アキタの一貫生産システムの原点が、この自社配合飼料製造です。



厳選した原料から安全・良質な飼料を製造。

「エサづくりは、おいしい卵の原点」と言われるほど。アキタでは、主原料をトウモロコシにし、大豆油粕や菜種油粕を副原料として、ビタミン、ミネラル類などの微量成分もバランス良く配合。さらには卵の殻を作る石灰石の粉やカキ殻などをカルシウム分として添加するなど、独自のコンピュータ管理によるパーフェクトに栄養設計された飼料を製造し、グループ内の各農場へ専用トラックで直送。良質なアキタの卵の生産と直結しています。トレーサビリティシステム導入済み。



お客さま以外は、誰も卵に直接触れません。  
清潔な環境で生まれたものを洗卵・消毒し、  
高品質のままお届けしたいから。

#### GPセンター

HACCP原則に基づいて、入念に洗浄・消毒・乾燥を行っています。

採卵農場で生まれた卵は、人の手に触れることなく、洗卵・パッキングのためにGPセンターへと送られます。これは、卵の衛生状態を確実に守るためのもの。GPセンターに運び込まれた卵は、HACCP原則に基づいて入念な洗浄・消毒を実施。最後に十分に表面を乾燥させ、衛生的で高品質な美しい卵が完成します。



3段階の品質検査で、高品質卵を正確に選別。

洗卵が終わった卵は、その直後から品質検査が行われます。まずは、目視による汚卵・奇形卵の検査を行い、次に自動ひび検出装置で目に見えないようなひびまでチェック。最後に血卵検出装置で問題のある卵を排除します。この高精度な設備による検査に合格した高品質卵は瞬時に重量選別を行い、パッケージングラインへと回されて、「厳格仕様」の製品となるのです。



#### 鶏卵センター

自社配送で、新鮮な卵をスピーディに食卓へ。

パッキングされた卵は、食品衛生法で義務づけられた情報と「厳格仕様」のマークが貼られ、ようやく製品となります。そして配送も、温度管理のできる抗菌仕様チルドトラックで、その日のうちに鶏卵センターへ。産卵の翌日には店頭に並び、新鮮で安全・安心な高品質卵をお客様にお届けしています。



血液検査による健康診断。

病気を未然に防ぐという考え方は、

人も鶏も同じなのです。

#### 検査

血液検査で、常に親鶏の健康状態を把握しています。

鶏の病気のために抗生物質や合成抗菌剤を使うという一般的な処方、アキタでは行っていません。これは、「病気を未然に防ぐ」という予防原則に基づいた健康管理を重視しているからです。独自の衛生的な環境づくりに加え、定期モニター検診で血液検査を実施。人間と同様に厳しい目で健康診断を行い、成鶏に対し投薬の必要がないよう病気の早期発見に努めています。



各農場、飼料工場、自社研究所。それぞれで卵質検査を実施。

卵には、飼養環境や飼料成分をはじめ、様々な要因が品質に影響を与えます。そこでアキタでは、卵の鮮度、卵殻の強度、卵殻厚、卵黄色の検査を、各農場・飼料工場・自社研究所のそれぞれで実施。農場では環境管理の視点から、飼料工場は栄養管理の面で、自社研究所は研究者の立場で安全性を追求しています。そこから得られた結果を互いにリレーションすることで、より良い環境づくりや飼料成分の改善・向上に役立てているのです。



サルモネラ菌感染の予防薬開発で、「世界ワクチン学会」から招待を受けました。

サルモネラ(SE)ワクチンの接種により、採卵農場のSE汚染が全体的にクリーンになったことについて、2012年3月「世界ワクチン学会」から招待を受け、その効果について発表を行いました。卵の安全性確保について、世界で通用する検査・研究施設を有しているのは、人材においても実験設備においても、国内では他にありません。



親鶏が産んだ卵の安全・安心は、  
世界基準の自社研究施設から  
生み出されているのです。

#### CAF・ラボラトリーズ

業界で唯一の自社研究所「CAF・ラボラトリーズ」。

世界基準の安全品質管理システムを構築するために、アキタでは1990年に自社研究所「CAF・ラボラトリーズ」を開設しました。衛生管理・品質管理体制にはじまり、各農場や施設の危害要因の分析、管理基準の確立・監査、生物学的・物理的・化学的な検証・記録を実施。自らに厳しい基準を設けることで、高い安全水準を保つ努力を行っています。



※CAF ラボラトリーズ：C=Consumer's(消費者)、A=And、F=Farmer's(農場)を表し、消費者と生産者のための研究所を意味しています。

「P3※」レベルの実験室を完備しています。

卵の人に対する最大の危害要因はサルモネラ菌(SE)の汚染と言われています。自社研究所「CAF・ラボラトリーズ」では、病原性検査において「P3」レベルの気密性を誇る最新の設備群を装備。サルモネラ菌感染の予防薬の開発では、世界で2番目にSE不活化ワクチンの販売の国家承認を得るなど、最先端の研究を行っています。卵の安全・安心のために、病原体検査が行える実験室を持っているのは、業界ではアキタだけだと言えます。



※生物の物理的封じ込め(physical containment)とは、生物材料の外界拡散防止のため、設備・実験法など物理的手段により閉じ込めること。  
生物の潜在的危険性によりP1から最高P4までのレベルがあります。

25段階の検査を即日判定し、安全な卵をスピーディに出荷。

厳格なアキタ式HACCPによる25段階のSEチェックの検査分析も、「CAF・ラボラトリーズ」の重要な役割。通常、外部の検査機関に依頼した場合2週間が必要なところを、自社研究所で100%内製化することで早期判定を実現しています。万一、サルモネラ感染が発見されるという緊急事態が起こっても、迅速に対応することが可能で、感染の拡大を最小限にとどめられます。自社研究所を持つことで、「確実に安全・安心な卵の出荷」を高いレベルで実現しているのです。







これまで一つひとつ積み上げてきた  
アキタの企業としての取り組みが、  
様々な分野で高い評価を受けています。

世界でも、日本でも、アキタの取り組みが注目を集めています。

安全・安心な卵づくりからはじまったアキタの様々な取り組みは、その輪をどんどん広げています。世界に目を向ければ、約30カ国が集まり春と秋に開催されるIEC(国際鶏卵委員会)会議で、(一般社団法人)日本鶏卵生産者協会の代表団に参加。日本では、商品パッケージがデザイン賞を受賞するなど、分野や部門を問わず、様々なところでアキタに注目が集まっていると言えます。より良い卵づくりとは何か、企業としての一つひとつの活動がその答えにつながっているのです。

#### 受賞

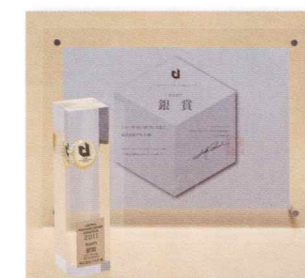
鶏卵業界で最も名誉ある「デニス・ウェルステッド賞」を受賞。

2012年、ロンドンで開催されたIEC会議で、アキタ社長・秋田善祺が世界の鶏卵業界で最も名誉ある「デニス・ウェルステッド賞」を受賞。アジア人としてはじめての受賞は、世界の養鶏関係者と緊密な交流を保ち、日本の鶏卵産業界の向上に対する貢献が評価されたこと。種鶏から、親鶏の育成、採卵、そして製品・出荷・流通に至るまで、完全に管理された養鶏事業のもと、安全・安心を追求するアキタの姿勢が、世界に認められたのです。



日本パッケージデザイン大賞、食品部門銀賞を受賞。

9種類のビタミンが入ったアキタの新提案卵「ピーター」が、日本パッケージデザイン大賞2011で食品部門の銀賞を受賞しました。白を基調にしたシンプルなデザインの中には、アキタ独自のトレーサビリティの要でもある「生産履歴検索コード」もしっかりとレイアウトされ、見た目の美しさと安全・安心への約束が、ひとつのデザインに集約されています。



厳格仕様を支える、アキタの完全直営一貫生産ネットワーク。





株式会社アキタタマゴ

本社 / 〒720-0814 福山市光南町三丁目7番30号  
TEL (084) 928-8222 (代) FAX (084) 928-8245

[www.akitatamago.co.jp/](http://www.akitatamago.co.jp/)

ひとつの卵に、いくつもの想いをこめて。



## 安全・安心な卵は、こんな人に支えられています。

アキタで働くすべての人が、さまざまな現場から「厳格仕様」を支えています。  
誰ひとりが欠けても、安全・安心は守れない。一人ひとりが徹底した高い意識で、卵を見守っているのです。

結果が出たときの達成感や、やりがいはとても大きい。



東城ポトリ 南山農場 育成部門  
瀧川 理子



私は、雛を育てる育成部門に所属しており、部門内の全責任を担う部門長として働いています。現場での作業はもちろんですが、部下の教育や指揮監督も大切な仕事のひとつです。そして、部門の従業員が働きやすい職場を目指すため、工夫すれば改善できることなどを日々考え、実行しています。また、部門の従業員と上司とのコミュニケーションが円滑になるように心がけています。

私が今の仕事に魅力を感じていることは、365日違う刺激を受けることです。雛は生き物であるため、いつも同じ状態であることはありません。そのため、常に目の前にいる雛に向き合い、その雛にあったベストな育成を考えなければ

なりません。その分、結果が出たときの達成感や、やりがいはとても大きいのです。また、様々なことにチャレンジできる機会が多いことも、魅力のうちのひとつになっています。

私が就職活動をしていた当時、女性が畜産に関わる仕事に就くことは珍しく、環境も整っていないため、不安に感じていました。ですが、日本で唯一の完全直営一貫生産システムを構築しているアキタに魅力を感じ、チャレンジしたいと思ったので入社を決めました。

今は、女性にとって働きやすい環境を整備しようと力を入れているので、「入社して良かった」と思っています。

卵や鶏の新たな発見に、いまでもワクワクする日々です。



東京本部 研究開発部  
浅沼 初音



大学で動物関係のことを学んでいたことで、「食品系で動物と携われる仕事をしたい」という想いからアキタに入社しました。

今、在籍している研究開発部の主な仕事は、飼料の配合設計です。栄養や原料の組み合わせを考えながら、生産成績の改善や新商品の開発などを行っています。卵は、私たちにとって非常に身近な食材ですが、まだまだ知られていない部分があります。試験や調査をする機会が多いので、新しい発見をしたときには、「卵って、鶏って、すごいなあ」と感じます。

新商品の開発では、マーケティング調査などを行って、「どのような商品が

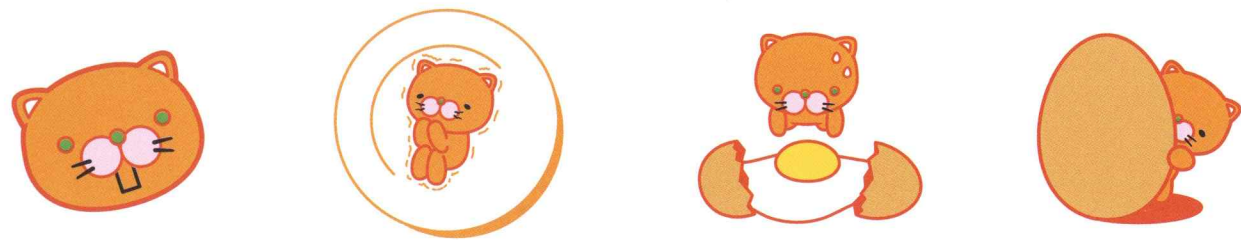
消費者に求められているのか」ということを考えています。ただ、やはり卵は本来ヒナをつくるためのものであるため、消費者が望んでいる卵を必ずしも実現できるかというところ、そうではないところが非常に難しいところです。

アキタがスゴいところは、生産のすべてを自社で行っているところ。私は、「自分でつくっているということを実感できる生産者になりたい」という想いが強かったので、一番大事な生産という部分を人任せにせず、本当にその商品に責任を持ってつくる生真面目さと誠実さがあるアキタの魅力に惹かれました。

## あらゆる部門の人が見守る。 だから、確かな安全・安心を お約束できるのです。

世界一安全・安心・新鮮な卵をお届けするために、アキタがたどり着いた答えは、  
飼料はもちろん、種鶏から鶏卵出荷までのすべての工程を自社で行う、日本で唯一の「完全直営一貫生産システム」でした。  
それぞれの施設は、コンピュータで管理されていたり、人の手を触れることなく、衛生的に鶏卵出荷まで行われていたり、すべてが自動で行われているように見えるけれども、卵がお客さまの手に届くまで支えているのは、やっぱり人。  
「食材」を守る責任と、「動物」を想う、社員の一人ひとりが、  
今日も、確かな安全・安心をお約束するために、卵を見守っています。





まずは、やってみる。そういう人材を求めています。



飼料工場  
松岡 誠



アキタの飼料工場は、アキタの農場のためだけに運営されています。そのため、鶏卵専用の飼料を製造できるところが、他社の飼料工場と全く違うところです。

ここで製造された飼料が、直接、アキタの農場に送られるため、少しでも飼料に問題があると、大変な事態を引き起こす原因となります。だからこそ、常に整理、整頓、清掃、清潔、しつめの「5S」を大切に、世界で一番きれいな工場を目指して、日々業務に取り組んでいます。その結果、「卵が美味しい」とか、「業者の方からアキタの卵は安全で安心だよ」と言っても

もらえることに、一番やりがいを感じています。

これから入社する人に持っていて欲しいことは、「目指すゴールを想像したら、あれこれ考えず、まずはやってみる」というポジティブな意識です。もちろん、「想像したことが全部実現できるのか」と言ったら無理かもしれません。でも、最初からダメだと諦めてしまうのではなく、「どうすれば、実現できるのか」という想いを持って頑張る姿勢が大切です。なぜなら、そうした姿勢が真のプロフェッショナルになったときに、今まで見ていた景色とは違った世界を見せてくれるからです。



これまで以上にアキタは、日本だけではなく、世界においても存在価値を高めていく。



本社 生産管理部  
藤井 治人



生産管理部の次長をしています。主な職務として、鶏が予定どおり品質の良い卵を産んでくれるように、健康維持などを助ける仕事をしています。また私の取引を行うため、社長に同行して海外出張することも少なくありません。そのため、仕事上の取引以外に、海外での養鶏技術をたくさん学ぶことができています。

また、海外ではもちろんのこと、国内においても、「安全を約束している卵」は、それほど多くは存在しません。鶏卵技術の進んでいる欧米であっても、安全性という点では、アキタのほうが

先をいっていると言えます。そのような世界的な状況から見ても、これまで以上にアキタは、日本だけではなく、世界においても存在価値を高めていくことになると思います。

学生の皆さんへのアドバイスとして、アキタで働くためには、まず生き物が好きであること。そして、鶏をよく観察して鶏に何が起きているのかを知ろうとする姿勢が、何よりも大事です。また、これからはそれだけではなく、鶏や卵への知識はもちろんのこと、語学力やグローバルな視点で発想できる人がいっそう求められると思います。

富士山は、鶏にも、働く人にもいい環境です。



富士山ポトリ 育成部門  
渡邊 知宏



富士山の一合目にある農場の育成鶏舎で、ふ卵工場から運ばれて来たヒナを、卵を産む成鶏になるまで育てる仕事をしています。ヒナを育てることは、人間で言うと赤ちゃんを育てるようなものです。ヒナは環境の変化に非常に敏感で、ちょっとした温度の違いなどが、水やエサの摂取量にも影響します。そのため、繊細な管理が必要となります。日々、ヒナの様子を気にかけてながら仕事をすることは大変ですが、どんどん成長していくヒナの姿にやりがいを感じています。

私が働いている育成鶏舎は、小さなヒナを育てるため、アキタの中で最も防疫体制が厳しい鶏舎です。毎朝、農場に着くと、私服から制服に着替えて育成鶏舎の事務所に行き、そこで制服から

青いつなぎに着替えます。さらに、育成鶏舎の更衣室で白いつなぎに着替え、ようやく作業に取りかかることができます。

アキタへ入社したきっかけは、もともと大学で畜産を学んでいましたが、アキタの会社説明会に参加したときに、「自分が想像していた養鶏とアキタの養鶏は全く違う」と感じたからです。徹底したバイオセキュリティのための防疫体制が、厳格に実施されていることに強く惹かれました。

農場では鶏の管理も重要ですが、施設を動かしている機械を管理することも、とても重要な仕事です。畜産を学んできた人に限らず、工学分野を学んできた人とも、一緒に働くことができれば嬉しいです。

アキタというチームの中で、強みを伸ばしてほしい。



本社 人事部  
谷本 麻衣



人事部の業務は、採用、研修、労務管理、評価制度の運用などです。会社から見たお客様は、卵を買っていただく方々ですが、私のお客様は社員の皆さんです。人事部の業務で何よりも大切なことは、社員や組織の状況をよく知ることです。例えば、人が足りていない事業所があれば採用を考え、事業所に活力がないようであれば研修するなど、常に事業所に刺激を与え、成長を促します。また、タレントマネジメントとして、適切なポジション

人事部としてやりがいを感じる時は、採用した人が活躍している姿を見たときや、労務管理、評価制度の運用などによって働きやすい環境を整備した結果、生き生きとした社員の姿を見られるときです。アキタは、ものづくりに対して非常にこだわりを持った会社です。そして、こだわりを創り出せるのは、向上心を持ち続け、真面目でへこたれず、物事に熱中できる仲間や環境があるからです。私は、この仲間や環境の中で、一人ひとりが何か強みを持って欲しいと考えています。自分自身に強みがあれば、組織の中で特長を出し、新たな意欲や自信につながっていきます。ぜひ、アキタというチームの中で、自分を向上させ、可能性をひろげて環境を整備しています。

人事部としてやりがいを感じる時は、採用した人が活躍している姿を見たときや、労務管理、評価制度の運用などによって働きやすい環境を整備した結果、生き生きとした社員の姿を見られるときです。アキタは、ものづくりに対して非常にこだわりを持った会社です。そして、こだわりを創り出せるのは、向上心を持ち続け、真面目でへこたれず、物事に熱中できる仲間や環境があるからです。私は、この仲間や環境の中で、一人ひとりが何か強みを持って欲しいと考えています。自分自身に強みがあれば、組織の中で特長を出し、新たな意欲や自信につながっていきます。ぜひ、アキタというチームの中で、自分を向上させ、可能性をひろげて環境を整備しています。

# PROFILE

## 会社概要

- 社名 株式会社 アキタ
- 本社 広島県福山市光南町三丁目7番30号  
TEL (084)928-8222(代表)  
FAX (084)928-8245
- 設立 昭和41年10月27日(創業昭和2年)
- 資本金 9,300万円(グループ全体 3億3,810万円)
- 代表者 代表取締役社長 秋田善祺  
代表取締役副社長 秋田正吾
- 従業員 244名(グループ全体 948名)
- 事業案内 1. 採卵用初生雛、若雌の生産販売  
2. 飼料の製造  
3. 鶏卵の自家生産、処理販売

## 株式会社 アキタ

- 東京本部  
東京都港区芝公園一丁目1番12号 芝公園電気ビルディング5F TEL(03)6809-1806(代) FAX(03)6809-2605
- 東京支店  
東京都港区芝公園一丁目1番12号 芝公園電気ビルディング5F TEL(03)6809-1805(代) FAX(03)6809-2605
- 福山支店 兼 福山鶏卵センター  
広島県福山市南松永町四丁目6番20号 TEL(084)930-4100(代) FAX(084)934-6553
- 大阪支店 兼 大阪鶏卵センター  
大阪府摂津市鶴野四丁目12番16号 TEL(072)638-4105(代) FAX(072)638-4130
- 名古屋鶏卵センター  
愛知県名古屋市中区中小田井四丁目254番地 TEL(052)938-3071(代) FAX(052)938-3072
- 関東GPセンター  
千葉県千葉市緑区大野台二丁目5番5 TEL(043)205-5205(代) FAX(043)205-5210
- 松永ふ卵工場  
広島県福山市神村町6306番地の2 TEL(084)933-5221 FAX(084)933-5573

## アキタグループ

- 有限会社 久井ポトリー  
広島県三原市久井町坂井原235番地 TEL(0847)32-7131(代) FAX(0847)32-7132
- 株式会社 東城ポトリー 東城農場  
広島県庄原市東城町帝釈宇山5112番地の2 TEL(08477)2-3748(代) FAX(08477)2-4529
- 株式会社 東城ポトリー 庄原農場  
広島県庄原市川西町1102番地 TEL(0824)72-5790(代) FAX(0824)72-4235
- 株式会社 東城ポトリー 竹森農場  
広島県庄原市東城町受原91番地の1 TEL(08477)2-3784(代) FAX(08477)2-3176
- 株式会社 東城ポトリー 南山農場  
広島県三次市三和町有原字南山243番地の7 TEL(0824)52-7033(代) FAX(0824)52-7034
- 有限会社 いすみポトリー  
千葉県いすみ市山田7715番地 TEL(0470)66-1821 FAX(0470)66-1822
- 株式会社 富士山ポトリー 農場  
静岡県富士宮市山宮3765番地15 TEL(0544)58-7596(代) FAX(0544)58-7597
- 株式会社 富士山ポトリー GPセンター  
静岡県富士宮市山宮913番9 TEL(0544)29-0066(代) FAX(0544)29-0067
- 広島中央養鶏農業協同組合 松永GPセンター  
広島県福山市南松永町四丁目6番20号 TEL(084)934-3169(代) FAX(084)934-6553
- 広島中央養鶏農業協同組合 松永飼料工場  
広島県福山市南松永町四丁目6番2号 TEL(084)934-7161(代) FAX(084)933-2169
- 株式会社 シーエーエフ・ラボラトリーズ  
広島県福山市神辺町道上1257番地の1 TEL(084)963-4228(代) FAX(084)963-4265

## 事業の歩み

- 昭和 2年 父 秋田実が日本鶏育種改良を開始。
- 昭和 25年 父 秋田実がふ化業を創業。
- 昭和 27年 現社長秋田善祺、学業を終え、父 秋田実創業のふ化業を継ぐ。
- 昭和 39年 外国種ハイライン鶏の広島県特約ふ化場となる。
- 昭和 41年 資本金100万円を以て、株式会社秋田種鶏園を設立。  
秋田善祺、代表取締役役に就任。
- 昭和 42年 久井ポトリーを開設。若雌育成事業をスタート。  
福山市神村町に本社ビル及びふ卵工場を新設。
- 昭和 43年 資本金400万円に増資。
- 昭和 45年 広島県尾道市に鶏卵GPセンターを開設、鶏卵販売事業をスタート。
- 昭和 47年 資本金1,500万円に増資、株式会社アキタ産業に商号変更。
- 昭和 48年 資本金3,000万円に増資。
- 昭和 53年 福山市南松永町に松永飼料工場を開設、  
年間15万トンの供給体制確立。
- 昭和 55年 広島県庄原市東城町に東城ポトリーを開設。ウインドレス  
インラインシステムの超近代的な採卵農場として注目を浴びる。
- 昭和 58年 大阪府摂津市に大阪鶏卵センターを開設。近畿地区全域に産卵後  
24時間納品体制が確立。  
福山市南松永町に福山鶏卵センターを開設。
- 昭和 59年 広島県庄原市に庄原ポトリーを開設。  
ウインドレスインラインシステムの第2採卵農場として稼働を開始。
- 平成 元年 広島県庄原市東城町に竹森ポトリーを開設。ウインドレス  
インラインシステムの第3採卵農場として稼働を開始。
- 平成 3年 広島県庄原市東城町に東城ポトリー第2農場を開設。
- 平成 7年 福山市光南町に本社を新築移転。  
同時に社名を株式会社アキタに変更。  
福山市神辺町にシーエーエフ・ラボラトリーズを新築移転。
- 平成 8年 大阪府摂津市鶴野に大阪鶏卵センターを新築移転。  
チルドでのクール輸送体制を確立。
- 平成 10年 農林水産省よりレイヤーミュンSEの販売使用認可を取得。  
同年5月より全鶏群にSEワクチンの接種を開始。
- 平成 13年 広島県三次市三和町に南山ポトリーを開設。
- 平成 14年 東京都中央区日本橋本町に東京営業所を開設。
- 平成 15年 千葉県いすみ市に最新設備のいすみポトリー、  
千葉県千葉市に関東GPセンターを開設。関東エリアに本格進出。
- 平成 17年 資本金9,300万円に増資。
- 平成 19年 千葉県いすみ市にいすみポトリー第2農場を竣工。  
東京営業所を廃止し、同所に東京支店を開設。
- 平成 22年 静岡県富士宮市に富士山ポトリーを着工。  
東京支店を移転。  
東京本部を開設。
- 平成 23年 静岡県富士宮市に富士山ポトリー GPセンターを開設。
- 平成 25年 富士山ポトリーを竣工。
- 平成 26年 名古屋鶏卵センターを開設。



株式会社 アキタ

本社 / 〒720-0814 福山市光南町三丁目7番30号  
TEL (084) 928-8222 (代) FAX (084) 928-8245  
[www.akitamago.co.jp/](http://www.akitamago.co.jp/)